

■事例紹介

外ヶ浜町上小国地区ビオトープ池での釣り大会

令和6年7月28日（日）に外ヶ浜町上小国地区のビオトープ池で、鯉釣り大会が開催されました。本イベントは年々参加者が増加しており、今年は地区内外から過去最大の70名以上が参加し、大盛況のイベントとなりました。昨年は水温の関係でなかなか釣れませんでしたでしたが、今年は「かかった!」「タモ網!」とあちこちで声が絶えず、1kg超えの大物を釣り上げた方もいました。



その後は上小国会館に場所を移し、交流会が始まりました。地区の小林代表から子ども達へ賞状とお菓子が手渡しされ、地元のお母さん方が作った手作りの昼食が振る舞われました。後半は有志によるねぶた囃子が披露され、迫力ある生演奏を楽しみました。

イベント終了後、小林代表は「準備は大変だけど、子ども達の笑顔が見れて良かった」と達成感に満ちた笑顔で語っていました。



当初ビオトープ池は、地域住民が自然や生き物とふれあう場を提供する目的で整備されましたが、現在は釣り大会の開催を通して地区内外の様々な世代間が交流する場に発展を遂げています。高齢化や過疎化に負けず、着々と地区外のファンを増やしている上小国地区から、今後も目が離せません！来年の開催も楽しみにしています。

（東青地域県民局では、令和6年度ふる水基金事業により、釣り大会当日に使用する折りたたみ椅子やタープテントのほか、ビオトープ池周辺的环境整備のための砕石、側溝等の物品を提供しました。）